

私立 園田学園女子大学

地域力を生かしたキャリア支援プログラムの構築

取組期間	2009(平成21)年度～2010(平成22)年度
区分	就職支援推進プログラム
所在地	〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1
設置者	学校法人 園田学園

取組内容とその成果

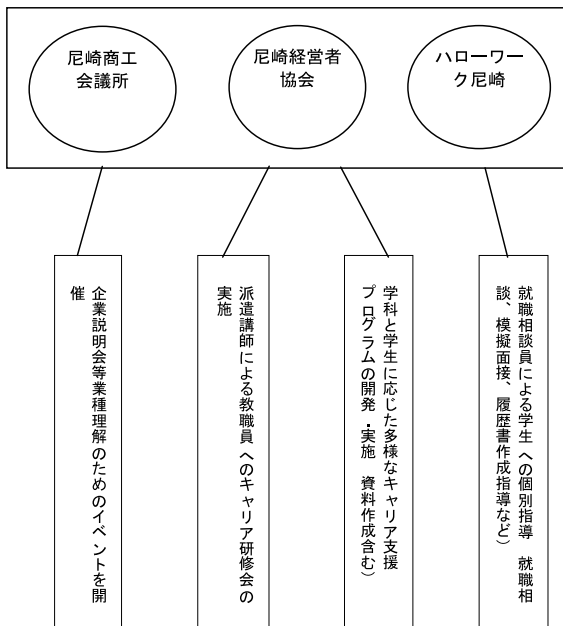
プログラムの目的及び内容

本学は、開学以来約40年にわたり、尼崎市において地域に開かれた大学として、地域貢献の実績を重ねてきた。その活動を通じて、「経験値教育」という教育方法を構築し、社会人基礎力の養成を進めてきた。しかしながら厳しい雇用状況の中、就業意欲は高いものの内定を得ることができない学生が少なくない。

その対応として、本取組ではコミュニケーション能力など学生の社会人基礎力の向上を図り、就職率のアップに繋げることを目的とした。学長を中心とした就職支援体制を強化するため、地域の尼崎商工会議所、尼崎経営者協会、ハローワーク尼崎と連携し(下図)、就職相談員の配置等を強化することによって、一人ひとりの学生に応じた支援を行う。

また連携先と共同で、地域力を生かした学科ごとのキャリア支援プログラムを開発し、一人でも多くの学生が希望業種に就職することを目指す。

【連携先】



到達目標

本取組の達成目標としては、就職希望者率(全学生比)と就職率(全希望者比)について、2009(平成21)年度目標はそれぞれ86%、70%とし、まず全国レベルに近づける。

平成21年度実績(平成22年5月1日現在)

	卒業数	就職希望数	就職希望率	就職数	就職率
大学	331	276	83.4%	233	84.4%
短大	178	162	91.0%	128	79.0%
大短合計	509	438	86.1%	361	82.4%

2010(平成22)年度は90%、75%以上を目標とした。

平成22年度実績(平成23年5月1日現在)

	卒業数	就職希望数	就職希望率	就職数	就職率
大学	335	298	89.0%	263	88.3%
短大	143	129	90.2%	112	86.8%
大短合計	478	427	89.3%	375	87.8%

2011(平成23)年度以降は、2009(平成21)・2010(平成22)年度の2年間を評価した上で、新たに設定する。また、これらの目標を達成するために、本取組の具体的内容ごとに別途行動目標を定める。

プログラムの実施内容

地域力を活用した、学科と学生に応じた多様なキャリア支援プログラムを企画し実施する。具体的な実施内容は、①学科と学生に応じた多様なキャリア支援プログラムの開発・実施、②視聴覚効果の高い面接トレーニング・ツールの導入、③より充実した学生への個別指導<就職相談、模擬面接、履歴書作成指導等>、④全教職員へのキャリア研修会の実施、⑤企業説明会の開催を柱に多様な支援を計画とおりに進めた。(①～⑤は下記*印)

【2009(平成21)年度】

コミュニケーション能力など学生の社会人基礎力の向上を図り、就職率アップに繋げることを目的とした。

番号	実施計画
1	模擬面接専用室の設置、面接指導システム一式の導入*②
2	面接指導システム導入による面接対策強化についての情報発信
3	就職相談員の配置(就職相談、模擬面接、履歴書作成指導、低年次生向けガイダンス講師等)、本年度は卒業年次生の指導を強化*③
4	他大学等でのキャリア支援プログラムの調査

【2010(平成22)年度】

連携先からの就職相談員の配置等により、履歴書指導など、基礎からの個別指導を充実させる。学生が自ら希望する業種を、より深く理解し、実感を伴って適性を確かめられるプログラムを構築し、一人でも多くの学生が希望業種に就職することを目指す。

番号	実施計画
1	就職相談員の配置 * ③ (就職相談、模擬面接、履歴書作成指導、ガイダンス講師等)
2	学科と学生に応じたキャリア支援プログラムの実施・開発 * ①
3	取組内容の情報発信 (本学ホームページ・報告書等)
4	卒業生への進路追跡実態調査
5	全教職員へのキャリア研修会の実施 * ④
6	他大学等でのキャリア支援プログラムの調査
7	取組に関するフォーラムを開催
8	企業説明会等業種理解のための交流イベントを開催 * ⑤
9	学生への満足度調査の実施
10	就職相談員の増員について (追加) ⇒ 企業訪問専任者の採用 * ③

プログラムの成果

1. 当該プログラムの周知方法等

学内では、どのような方法で周知徹底したのか。掲示やDMのほか、本学ホームページを通じて取組内容を随時発信した。

2010(平成22)年7月から2011(平成23)年4月まで計15回発信 * 別紙添付

No	発信日	内 容
1	2010/ 7/22	地域力を活かしたキャリア支援プログラムの構築 事業報告ページです
2	2010/ 7/23	就職活動で困ったら就職相談員に相談
3	2010/ 7/27	新兵器「面接フィードバックシステム」稼働中です
4	2010/ 8/ 2	面接フィードバックシステム体験記 1
5	2010/ 8/ 6	面接フィードバックシステム体験記 2
6	2010/ 8/24	面接フィードバックシステム体験記 3
7	2010/ 9/ 9	森ゼミ主催の森吉弘氏による講演会 (教職員研修会) を実施しました
8	2010/11/13	就職マナー講座「応用編」を開催しました
9	2010/11/17	筆記試験対策講座を開催しました
10	2010/12/ 1	就職メイクアップ講座～実践編～を開催しました
11	2010/12/ 1	キャリアフォーラム in SONODA を開催します
12	2010/12/24	キャリアフォーラム in SONODA～地域力を生かしたキャリア支援プログラムの構築～を開催しました
13	2011/ 1/17	JOB セミナー (学内合同企業説明会) を開催しました
14	2011/ 4/ 1	「幼稚園教諭をめざして～就職活動の流れと幼稚園の一年間」を開催しました
15	2011/ 4/ 1	教員採用試験面対策講座を開催しました

2. 当該プログラムの成果

①自己評価は、どのような観点で行ったか。

就職相談員との面談件数や面接指導システムの利用率、企業説明会への学生参加数やキャリア研修会への教職員参加数など、あくまでも実数に拘った。

②到達目標に達したか。

就職希望率、就職率とも、目標にしていた数字をほぼ達成した。

自己評価に関する実数は次のとおりである。

相談員との相談件数 * 2010(平成22)年度より本格的に開始

< 2010(平成22)年度 >

大学 563 件 / 短大 438 件 合計 1,001 件

< 2011(平成23)年度 >

大学 1,007 件 / 短大 404 件 合計 1,411 件

面接指導システム使用件数 * H22 年度より本格的に開始

< 2010(平成22)年度 > 大短合計 347 件

< 2011(平成23)年度 > 大短合計 389 件

企業説明会 * H22 年度より大学外で実施

年度	学生数	企業数	会場	実施日
H21	81	21	開花亭 (学生食堂)	2月の土曜日
H22	104	23	新ビルニューアルカイク	1月のセンター試験前日
H23	110	32	新ビルニューアルカイク	1月のセンター試験前日

《参加数》149 名 (教職員数 : 212 名)

参加率 : 70.28%

【実施日】2010(平成22)年9月6日 (月)

【講師】森 吉弘 氏

【テーマ】書けない・話せない学生を作らない
企業訪問専任者による企業訪問数

2010(平成22)年度 425 件 / 2011(平成23)年度 485 件

③具体的な成果は何か。

就職相談員の増員により、相談件数が大幅に増加。企業訪問専任者の雇用により、企業説明会の参加企業数が増加し、新規の企業が多くなった。何よりもキャリア支援課職員と三位一体で学生の就職支援ができるようになったことが大きい。

今後の計画

1. 当該プログラムの成果をどのように活用して行くか。

当該プログラムで最も成果を上げたのが、就職相談員の配置である。3名のキャリアカウンセラーのほか、企業訪問専任者が増員できたことで、本学独自の就職支援の方法を確立できた。個人対応に時間を取られ、企業訪問が手薄になっていたが、各学科に対応した企業訪問ができることが大きい。また採用担当者が語った内容をすぐに学生に伝えるために「山田さんの就職耳より情報」として Web 検索できることは、画期的である。

一人の学生に対し、就職相談員、企業訪問専任者、キャリア支援課職員の三者がそれぞれどのような考

えでアドバイスをし、どのような支援をして行くのか。定期的に打合せをする以外に、学生個人ファイル（進路調書）に細かくデータを蓄積することで、学生の動向がわかるようにしている。情報を共有することで、効率的な支援ができるようになった。

2011(平成23)年度の大学予算の中に、GP 継続事業として、就職相談員と企業訪問専任者を組み入れた。今後も三位一体の就職支援を突き詰めて行きたい。

2. 今後の計画

当該プログラムで採用した就職指導員の提言により、2012(平成24)年度から「就活イメトレ講座」を6月に実施する予定である。この講座は、様々な業界で働く人達から、「仕事の面白さ」「仕事の大変さ」を聞く内容で、学生の就職意識の向上を目指す。

2年間で延べ1,500件の本学学生と面談し、就職に対する心構えができていない点とその後の活動に悪影響を及ぼしていると痛感。10月から就職講座が始まり、12月には本格的に就職活動がスタートする前に、働くことの意義を見つけられるよう、この講座を企画した。

◆就活イメトレ講座		講演テーマ
業界講師	経営者として求める人材	女性活躍の場
多角経営会社の取締役副会長	カリスマ販売員になるまでの道程とお客様との心の掴み方	
元カリスマ販売員	接客業の喜びと難しさ・面接までのお手入れの方法	
エステティックサロン経営者	憧れの職業への転職・仕事のとらえ方	
事務職から司会業へ	一人娘としての就職の選択 そして今後・・・	
大学教授アシスタント	音楽大学から米留學、好きなことを突き詰めた先に見えたもの	
英会話学校から自営へ	男性からみた共に働く女性像	
介護サービス取締役	就職が自立の第一歩 普通の人の「普通」から「自分の人生」へ	
本学キャリアカウンセラー		

就職未内定者への支援策

1. 内定(内々定)のピークを過ぎても内定(内々定)を得られない者への支援策

気持ちを切らさないように、学生と連絡を密に取り、キャリア支援課に来させる。個々に新規求人の情報提供をしながら、内定が取れるように導く。

また10月下旬に「未内定者のための就職説明会」を学内で実施。14社が参加し、約50名の学生が集まった。結果9名が内定を得た。同時にハローワーク尼崎の学卒担当者にも来ていただき、登録会も行った。今後もこのような就職説明会を積極的に学内で実施する予定である。

2. 未内定のまま卒業した者への支援策

卒業の時点で就職が決まらなかった学生のうち、希望者に対して、既卒の求人情報をメールで配信している。また就職相談にも応じている。

資 料

就職支援推進プログラム

園田学園女子大学 園田学園女子大学キャリアセンター career News



就職支援だより

最新就活情報・企業セミナー・就職ガイダンス・就職支援講座「キャリア」
1. 就職ガイダンス・企業セミナー・就職ガイダンス・就職支援講座「キャリア」



2013/03/19 日

2013年3月						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
-	-	-	-	-	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	-	-	-	-	-	-

2013/03/19 日

3月30日、「教員採用試験直前対策講座」を開催しました。 2011/04/01

3月30日、「教員採用試験直前対策講座」を開催しました。東京アカデミー 大阪校 教務部主任受検アドバイザー 江藤勝行氏を講師にお招きし、「今 からでも間に合う試験対策を教えてくださいました。」

ポイントとして、教員採用試験は各都道府県の教育委員会が実施するため、その内容が全く異なっており、まず自分が受験予定の都道府県の試験傾向を知ることが重要。また第一志望の受験に落ち着いて臨むために、試験日が重ならない他の地方の試験も併願するのがおすすめなど受験上の対策を学びました。

その他、筆記試験対策と人物評価試験対策についても教えていただきました。最後に、教員採用試験は今からしっかりと対策を立てれば決して難しい試験ではない。短期間の中で自分ができること、やらないといけないことを見極め 向かっていくことが大切、とアドバイスされました。

Posted by 園田女子

3月29日、「幼稚園教諭をめざして——就職活動の流れと幼稚園の一年間」を開催しました。 2011/04/01

3月29日、児童教育学科の新4年生を対象に「就職活動の流れと幼稚園の一年間」を開催しました。講師に学校法人樹弘学園 しもさか幼稚園 理事長 二道 清先生をお招きしました。本学児童教育学科 上野希裕 教授のインタビューで幼稚園現場の仕事や採用試験についてお聞きしました。

幼稚園では、1年間に様々な行事が行われます。当園を事例にすると、(入園式)、(音楽会)、(春と秋の遠足)、(運動会)、(七夕まつり)、(お泊り保育)、(もちつき)、(魚さばき)、(劇遊び参観)、(お別れ遠足)、(お別れ会)、(卒園式)などがあり、先生は日常の保育の他に各行事の準備をすることが必要。その他、新入園者向けのツール作成や保護者対象のバザー関係の仕事も発生します。

これらの行事は園によって内容や方法が異なりますが、当園の場合、音楽会で人気を集める楽器担当は、希望者に演奏させて皆が上手と思うように 拍手を送って決定する。お泊り保育の夕食ではフルコース料理を体験し、キャンプファイヤーの前に望遠鏡を使って天体観測を行う等のお話に感嘆の声が上がっていました。

また採用試験については、多くの園が面接、作文、ピアノ実技を実施しており、中でも重視しているのは面接。30秒で相手の心を掴むことが大事で、さらに受験する幼稚園のどこが好きなのかをアピールすることは大きなポイントになるので、何度でも園見学に行くべき、とアドバイスされました。また、社会に出ると人間関係で悩む人も多いが、相手を何を必要としている か常に考えて動く努力をし、人と和していけばきつそうまい。人を愛さ ようとするのでなく自分が変わる努力をすることが大切。就職前に自分がその環境でやっていけるのか見極める力も身につけて欲しい、と言及されました。

今回の講義を聞き、夢が現実的になってきた学生たち。これから就職活動に 臨む覚悟を定めているようでした。

Posted by 園田女子

プロフィール



キャリア
プロフィールを登録

最近の記事

Entries

アーカイブ

Archive

- [2010年07月](#)
- [2010年08月](#)
- [2010年09月](#)
- [2010年11月](#)
- [2010年12月](#)
- [2011年01月](#)
- [2011年04月](#)

園田学園女子大学 園田学園女子大学キャリアセンター career News



就職支援だより

最新就活情報・企業セミナー・就職ガイダンス・就職支援講座「キャリア」
1. 就職ガイダンス・企業セミナー・就職ガイダンス・就職支援講座「キャリア」



2013/03/19 日

2013年3月						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
-	-	-	-	-	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	-	-	-	-	-	-

2013/03/19 日

「JOBセミナー(学内合同企業説明会)」を開催しました。 2011/01/17

1月14日(金)、「JOBセミナー(学内合同企業説明会)」を開催しました。今回は、ホテルニューオカイクが会場となった特別バージョン。(有)ライン 取締役社長 尼崎商工会議所青年部 部長 島谷次氏の講演の後、企業説明会を行う2部構成で、大学3年次生、短大1年次生の100名余りが参加しました。

「採用のプロが教える元気企業発見講座」と題した島谷氏の講演では、まず、これから本格的に就職活動を始めるとあたっての心構えを紹介。

- 社会人になることは、自ら責任をもって企業に利益をもたらす「プロ」になると、認識すること。
- 採用担当者には、自社に利益をもたらしてくれる人材を求めて、学生の「アクション」(チームワーク)「シンキング」力をチェックしている。
- 選考や面接では、失敗することを恐れず前向きに、自分自身の強でしっかりと考え、自分の言葉で伝えることが採用への近道、と述べられました。

次に、就職が大変難しいといわれている昨今でも、中堅・中小企業の求人倍率は決して悪くはなく、その中で自分に合った優良企業を見つけるポイントを解説。

- 企業規模でなく、自分のやりたいことを基準に考えること。
- 自分の条件をすべて満たそうとするのではなく、条件に優先順位をつけて探すこと。
- インターネットで情報収集する場合、職種や業種の他に、仕事に関する自分のこだわりや気になることをキーワード検索する。出てきた企業の内容を必ず読み、その中でさらに気になるキーワードを書きとめていくと、興味内容が絞られ、新しい会社の発見につながる。

とアドバイス。地域に根ざした中小企業にもチャンスがあると地元尼崎の企業を中心に県下の中小優良企業4社の紹介もされました。

最後に、就職活動は自分発見、自分磨きができるチャンス。明るく元気を取り組むことで、必ず運命の会社に出会えるはず、と力強く締めくくられました。

2部の合同企業説明会には22社が参加。学生が30分ごと、3時間で最大6社を回れるシステムで実施しました。皆講演の内容を胸に、企業担当者と真剣に向かい合っていました。

Posted by 園田女子

プロフィール



キャリア
プロフィールを登録

最近の記事

Entries

アーカイブ

Archive

- [2010年07月](#)
- [2010年08月](#)
- [2010年09月](#)
- [2010年11月](#)
- [2010年12月](#)
- [2011年01月](#)
- [2011年04月](#)

就職支援だより

2013年3月

2013/03/19 日

「キャリアフォーラム in SONODA～地域力を生かしたキャリア支援プログラムの構築～」を開催しました。 2010/12/24

12月18日(土)、「キャリアフォーラム in SONODA～地域力を生かしたキャリア支援プログラムの構築～」を開催しました。開かれた大学として、地域連携の要請を重ねてきたSONODA。今回のフォーラムでは「地域力をキーワードに、学生が活躍を通じ地域とどう関わることが望ましいか、それを大学がどうサポートしていくべきかを考えました。

パネリストは、尼崎信用金庫 人事グループ係長 西尾和英氏、兵庫県立尼崎病院 看護部長 平山ミツ子氏、本学就職相談員 キャリアアドバイザー 松尾誠二氏、本学就職講座担当講師 森ゼミ主宰 森吉弘氏の4名。コーディネーターを本学学生支援部長・教授 大江篤が務め進行しました。

西尾氏は、人事担当の立場から求める人物像として①ルールを守る人②地域とのつながりを大切に、地域をよくしたいという熱意のある人③コミュニケーション能力の高い人、と説明。当店の営業エリアには技術力の高い優良企業が多いため、地域のために働きたい人、尼崎をより明るくしたい人と一緒に働きたい、と述べられました。

平山氏は、看護師に求める資質として①心身ともに健康であること②就職しても学び続ける姿勢を持てること③自らの人格を高める努力ができること、を挙げられました。患者様の命を預かる、ストレスの多い仕事をしながら自分自身も向上していくことは大変。しかし、それができてこそ本業に仕事ができるという。そして患者様のほとんどが尼崎市民なので、地域の生活に携われるよう支援してあげて欲しい、と話されました。

また本学の学生の課題として、松尾氏は①企業にとって魅力的な自分の長所に基づいて入社して何をしたいのか具体的なイメージをもつために、企業研究をしっかりすること②面接はコミュニケーション能力をアピールする場と捉え、暗黙のうちにできなくとも考えて話すこと、と企業視点で就職活動することが成功の近道であると提言されました。また、最近ではインターネットで就活することが多いが、尼崎にはサイトにはのっていない企業も多くあるので、自分で探して働きかけてみては、と提案されました。

森吉からは、すべての大学生に伝えることとして、「貪欲さと多様性」が必要。大学、アルバイト、自宅での生活がバランスよくこなす正三角形の学生をよし、どれか一つ飛び抜けている人材を企業は求めている。尼崎には、素晴らしい中小企業もあり、専攻を出て行けたいという人がいることもわかる。就活を通してこの尼崎と真剣に「遊び」、意識的に様々な価値観と出会い学生で多様性を身につけて欲しい、とお話がありました。

フォーラム終了後は、2名の就職内定者による体験発表を行い、引き続き1階にてブース形式で11名の内定者が発表。熱心に質問する後輩の姿も見られました。

Posted by 園田女子

キャリアフォーラム in SONODAを開催します。 2010/12/01

「地域力を活かしたキャリア支援プログラムの構築」と題し、キャリアフォーラム in SONODAを下記の日程で開催します。このフォーラムでは「地域力」をキーワードに地域と共に、多岐、地域に貢献する人材を育成するために大学はどうあるべきか、「園田スタイル」を考えていきます。

開催日時: 2010年12月18日(土)13:00～14:30
会場: 園田学園女子大学AVホール(図書館2F)
申込方法: リンク先のチラシをご参照下さい。 [園田リンク先](#)

Posted by 園田女子

「就職メイクアップ講座～実践編～」を開催しました。 2010/12/01

11月27日(土)、就職活動に向けての「メイクアップ講座～実践編～」を開催しました。講師にヘアリスト・服飾美容専門学校 教員 朝三千代氏をお迎えし、書類選考や面接で好印象を与えるためのメイクを教わりました。ポイントは、「ナチュラルでありながら華やかさのあるメイク」です。

■最初が学生モデルによるデモンストレーション。朝氏の解説を交えながら、半顔メイクが行われました。メイクが仕上がると、左右の顔の違いがはっきり、落ちた中にも華やかなメイクの仕上がりに、皆感心している様子でした。

そのポイントを少しご紹介すると…

★ベースメイク
特に写真用には、リキッドタイプより油分の多いクリームファンデーションがおすすめ。顔の下あたりの色ムラを選び、塗った後は必ずスポンジでぼかすこと。クマやニキビはコンシーラーで隠し、アラインや頬、唇にはハイライトを入れて立体感を出して、

★アイメイク
目の際にしほり感のあるハイライトを入れて華やかさを演出。下瞼のアイラインは全部ひと目小さく見えてしまうので、目尻から1/3～半分程度に、

★リップ
流行中の赤いリップは撮影するとお化粧の印象に、ピンクや唇色ページなどをセレクトして、グロス、つけすぎると下品な印象になるため、口紅を塗った唇の中央にのせて、立体感を出す程度に、

★チーク
頬骨の出ているところに明るいローズ系や薄いピンク色を、若々しく見せるにはオレンジ色がおすすめ。

■終了後は、各自持参したメイク道具で教わったポイントを取り入れたメイクにチャレンジ。アドバイザーの専門学校の学生さんに教わりながら、好印象づくりのためのメイク術を習得していました。

Posted by 園田女子

就職支援だより

2013年3月

2013/03/19 日

「筆記試験対策講座」を開催しました。 2010/11/17

11月13日(土)、「筆記試験対策講座」を開催しました。夏に続き(株)子マークetingジャパン 西日本地区ベネッセキャリア支援講座担当講師 阪口ゆり先生をお迎えし、多くの学生が苦手とする非言語分野問題の対策を学びました。「数列」「通法」「食塩水濃度」「規則と組み合わせ」などの問題を含む「SPI2基礎練習問題」を、焼き方のポイントや公式を復習しながら全員で問うず解答。参加した学生は皆、過去に買ったことを思い出しながら真剣に問題と向き合っていました。「文系の学生さんの中には、何年も数学に勉強してなかった方もいて大変 勉強になるだけに、非言語分野の試験は得点の差が出やすいといえます。これで合格が分かれることもあるので、大事なんです」と阪口先生、どうして 就職試験で非言語分野が必要なのかと疑問を投げかける学生もいるそうですが、「社会に出ると、非言語分野のような教養や一般常識を身につけておくと、自分の能力やスキルを発揮できることが大切」と答えているそう。将来、きっと必要になり役立つのが、コツコツ積み重ねた教養や常識。社会人になる前に、クイズ感覚で楽しみながら勉強できればいいですね。

Posted by 園田女子

就職マナー講座「応用編」を開催しました。 2010/11/13

11月6日(土)マナー講座「応用編」を開催しました。前回の講座で小松にマナーの基本を産学と実践で学び、今回は面接でのマナーを個別指導を交えて野村昌子氏にも参加いただき指導していただきました。今回の主旨は、ビデオ撮影による個別指導。自分の姿をビデオでみることで自分の意識と実際の印象のズレを認識してもらうのが狙いです。入室の仕方から自己PR、退出の仕方まで全てビデオでチェック。個別指導。学生は自分の思っている姿と実際のギャップを感じ取り、より印象よく見える所作を身につけようとして一生懸命取り組んでいました。

Posted by 園田女子

就職支援だより

2013年3月

2013/03/19 日

9月6日、「森ゼミ」主宰の森吉弘氏による講演会(教職員研修会)を実施しました。 2010/09/09

就活道場「森ゼミ」主宰の森吉弘氏を講師として午後の研修会がスタートしました。講演テーマは、「書けない話せない学生を作らない」「経験値教育」をより活かすために～。毎日膨大なエントリーシートを読む人事担当者に「会ってみたい」と思わせるシートを書くには?多くの学生の話を聞いている面接官に「もっと聴きたい」と思わせるには?「書ける」「話せる」コミュニケーションスキルは、学校では教えてくれないだけに、「できるだけ早期から、地道にコツコツ取り組む」ことが不可欠だと森氏は話します。

■「書ける」力をつけるために、森ゼミの学生が早い時期から取り組んでいるのが、「ががが新聞」の制作。身の回りや気づいたことを調査し、ハガキサイズの新聞を作る。社会に向ける目を養うと同時に、限られたスペースに見出しと本文、写真を構成することで、簡潔でインパクトのある文章を書く力を育成。これが魅力的なエントリーシートを書く鍵になる。

■一度面接の合否を決めるのは、最初の30分で明るく元気な話せるかどうか。挨拶はその第一歩だから、相手の名前を覚えておくことが、もちろんとできない学生が増加中。13ヶ月も訓練すればスムーズに挨拶やノックができるようになるので、教職員も普段から学生に挨拶して積極的に関わろう。自ら自然に挨拶ができると学生を育てて欲しい。

■面接では、面接官の印象に残ることも鍵の一つ。「その他大勢」から抜け出すために「地道にコツコツ」の努力は欠かせない。企業研究も自己PRも、自分の足を運んで得た情報、体験したことから見えてきたファクトは、競争相手に差をつける強力な武器になり得る。新聞のコラム・社説を10ヶ月間書き写し、ノートが14冊にもなった学生は、弱点だった言葉や文章を克服することができただけでなく、書きを継続することによって自信もつき、そのノートを面接に持ち参り内定を獲得した。

「一部一歩にはできないが、手をかければ学生は育つ」と森氏。今回の内容を参考に、私たち教職員も皆さんの就職活動を一層強力にサポートしていきます。

「森ゼミとは?」森吉弘氏が主宰する就活道場。「みなが正解、みなが先生、みなが生徒」をモットーに、社会と関わりながら自己観察力、コミュニケーション力、社会性などを鍛え、「自分だけの生き方」を見つける場になっている。森ゼミホームページは参照リンクをご覧下さい。 [園田リンク先](#)

Posted by 園田女子

就職支援推進プログラム

career News

就職支援だより

【地域力を生かしたキャリア支援プログラムの構築】の事業状況を報告するページです。



2013年3月						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
-	-	-	-	-	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	-	-	-	-	-	-

日付 2013/03/19 日

プロフィール



No Photo

キャリア

プロフィールを公開する

最近の記事

Entries

アーカイブ

Archive

- 2010年07月
- 2010年08月
- 2010年09月
- 2010年10月
- 2010年11月
- 2010年12月
- 2011年01月
- 2011年02月
- 2011年03月

徳島明子さんの面接フィードバックシステム体験記3(内定体験インタビュー)

2010/08/24

一病院内定おめでとうございます。いつ内定が出たのですか？

お返事です。ドキドキでした。

一最初の受験先での内定ですね。

初めての就活でしたのでいろいろ不安があり、準備をしました。

一たとえどんな準備ですか？

実習病院が志望先であったので実習中にどんな風に働きたいかを考えました。

また、文章を書くことに自信が無かったので、日頃から新聞を読み、社説を書き写したりして小論文に慣えました。文章を1日1本書いたことは効果がありました。

一これから就職活動をする同期や後輩に一言お願いします。

売り手市場の看護師就職戦線ですが、内定が取れればどこでもいいのではなく、どんな風に働きたいかを考え病院選びをすべきだと思います。私は地域と密な医療が出来る病院で仕事したいと思いましたので、それが出来る病院を選びました。

また病院のことを調べるのも重要だと思います。私の場合、志望病院が実習病院だったので、病院の雰囲気をつかみやすかったです。また友人のお母さんが勤めていらしたので、お話を聞けたのもラッキーでした。それと採用試験対策としては苦手なことをそのままにせず、積極的に克服する姿勢が必要でしょう。私は面接、小論文対策には力をいれました。

一ありがとうございます。

Posted by 園田女子

面接フィードバックシステムの成果は？ 人間看護学科 徳島明子さんの面接フィードバックシステム体験記2

2010/08/06

某病院を受験しました。本書の面接は緊張したけれど、自分の言葉で話すことができて満足です。面接官4人の個人面接。面接面接の時に面接官が複数のことが多くよと聞いていたので驚くことなく臨むことができました。

「グループでのあなたの役割は？」という質問にはすこしまどいました。が、あとは存分に自分の思いを話すことができたと思います。同じ病院を受けた同期の友人は模擬面接を実習のため受けることが出来ず、いきなりの面接にまどい、しどろもどろだったそうです。

模擬面接の後、顔に向かって、フィードバックシステムに映った表情を思い出しながら、笑顔の練習をしたことも本書でとまどわなかった理由の一つです。

あと、5月に受けたマナー講座がすごく役に立ちました。「本書で集めるのは準備不足が原因」との講師の先生のご話が印象に残っていて、マナー講座の資料を何度も読み直すことで自信ができました。お辞儀も落ちて堂々と出来たと思います。9割5分の出来です!! 受験の結果はもう少ししないとわかりませんが、就職活動が私を少し大人にしてくれたと思います。

Posted by 園田女子

人間看護学科 徳島明子さんの面接フィードバックシステム体験記

2010/08/02

「就職の面接は全く受けたことがなかったで模擬面接といっても大変緊張しました。2回模擬面接を受けたのですが、面接を担当していただいた就職相談員の方は2回とも違う方だったので、違うパターンを経験できたのが良かったです。

面接フィードバックシステムは客観的に自分を把握できるのが良いですね。初回は言いにくいことが多すぎて、何を言っているかわからない様子が、面接後すぐに大型画面で確認でき、自分の認識しているイメージと実際の違いがよくわかりました。

またマナー講座で正しい姿勢というのを学んだときは「そんなことはできている」と思っていたのに、産つた時に猫背の姿勢でたよりない自分の姿には大変ショックでした。表情も笑っているつもりが引きつっていたり・・・

できていないことが多かった1回目の模擬面接でしたが、就職相談員の方のわかりやすい的確なアドバイスで2回目の面接は7割ぐらいの完成度にはなったかと思えます。採用試験までには9割ぐらいの完成度になりたいです。来週は採用試験頑張ります。」

Posted by 園田女子

career News

就職支援だより

【地域力を生かしたキャリア支援プログラムの構築】の事業状況を報告するページです。



2013年3月						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
-	-	-	-	-	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	-	-	-	-	-	-

日付 2013/03/19 日

プロフィール



No Photo

キャリア

プロフィールを公開する

最近の記事

Entries

アーカイブ

Archive

- 2010年07月
- 2010年08月
- 2010年09月
- 2010年10月
- 2010年11月
- 2010年12月
- 2011年01月
- 2011年02月
- 2011年03月

新兵器「面接フィードバックシステム」稼働中です。

2010/07/27

面接での発言、振る舞いがどんな印象を面接官に与えているかはなかなかわかりにくいものです。他人からアドバイスを受けることもなかなかできないもの。

今回導入した機器は面接の様子を録画、後からその様子を画面で振り返り、面接官の視点で自分の発言や立ち振る舞いをチェックすることができるシステムです。自分の持つイメージと現実のギャップを捉え、模擬面接の効果を高めることを目的に導入しました。学生にも好評で連日予約一杯です。

Posted by 園田女子

就職活動で困ったら就職相談員に相談

2010/07/23

就職活動で困ったり、疑問に思ったりすることがどんなに多くても大丈夫です。キャリア支援課では昨年度から相談員を増員し、学生の就職活動での悩みに応えています。さらに、模擬面接も実施。本書のリハーサルとして連日予約一杯です。また、就職活動の年次ではない学生のキャリアに関する相談にもついています。

Posted by 園田女子

「地域力を生かしたキャリア支援プログラムの構築」事業報告ページです。

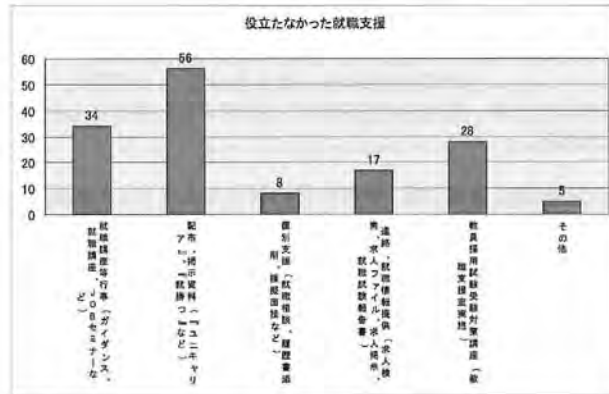
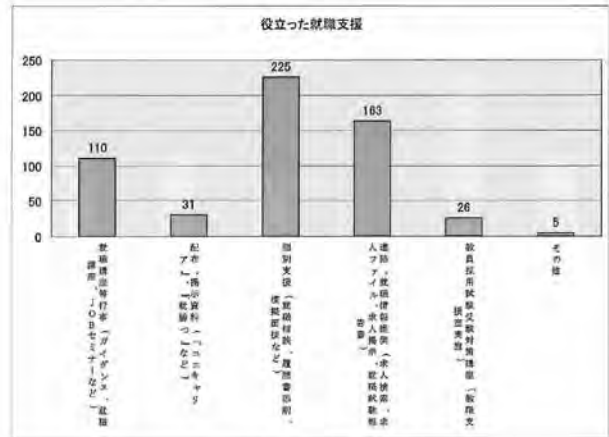
このホームページは文部科学省選定事業★「大学教育・学生支援推進事業（就職支援推進プログラム）」『地域力を生かしたキャリア支援プログラムの構築』の事業状況を報告するページです。今後、事業の実施内容などを随時報告していきます。

Posted by 園田女子

- 258 -

平成23年度 卒業生対象 就職支援満足度調査 集計結果

平成24年3月
キャリア支援課



調査件数と回答者の進路内訳

調査件数

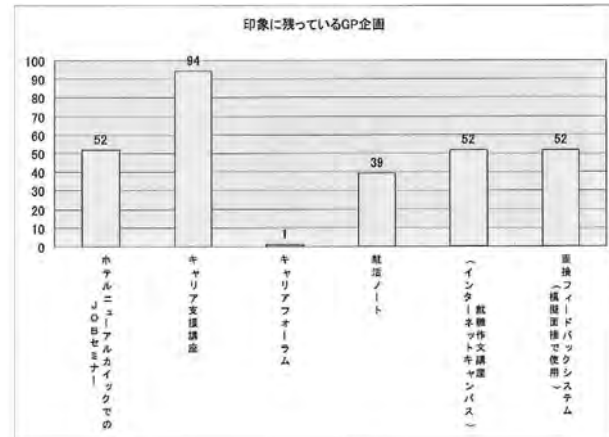
学科・コース	卒業生数	回答数	回答率
文化創造	30	26	86.7%
総合健康	88	81	92.0%
人間看護	84	83	98.8%
食物栄養	75	74	97.4%
児童教育	65	64	98.5%
大学計	343	328	95.6%

国際食文化	27	26	92.6%
健康生活	23	21	91.3%
情報デザイン	21	19	90.5%
幼児教育	94	93	98.9%
短大計	165	158	95.8%

回答者の進路内訳(2012.3.14現在)

学科	就職が決定	進学	就職活動中	教員志望	その他の進路	合計
文化創造	13	1	7		5	26
総合健康	40	1	10	27	3	81
人間看護	79	1	1		2	83
食物栄養	38	1	23	1	11	74
児童教育	48		3	10	3	64
大学計	218	3	44	39	24	328

国際食文化	13		12			25
健康生活	15	1	4		1	21
情報デザイン	9	1	9			19
幼児教育	68	1	13	1	10	93
短大計	105	3	38	1	11	158

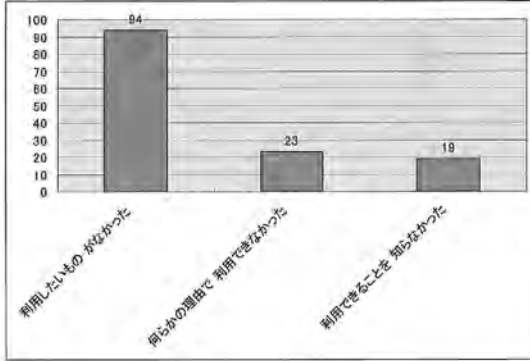


◎例年行なっている就職支援では、個別支援での満足度が非常に高く、次いで就職情報、就職情報支援行事の順となっている。一方で配布掲示物の満足度は低く、効果的な配布の仕方や、活用方法を指導する検討が必要があると思われる。

◎ GP関連の事業では、学科特性に合わせたキャリア支援講座が好評であった。また、今回初めての試みであったホテルでのJOBセミナー（学内企業説明会）は非常に印象度が強く、就職活動への刺激になったと思われる。総じてGP関連事業は就職活動の役に立ったと判断してよいと思われる。

就職支援を利用していない理由

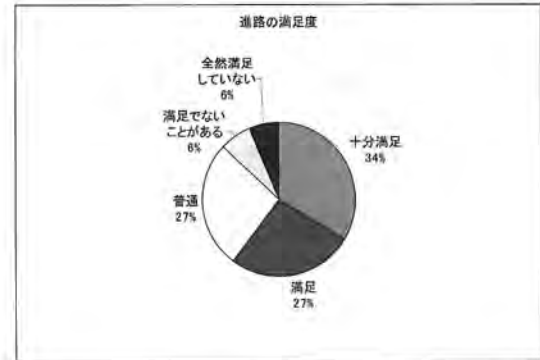
進路	利用したいものがなかった	何らかの理由で利用できなかった	利用できることを知らなかった
就職が決定	48	9	7
進学	3	0	1
就職活動中	21	6	1
教員志望(講師候補中)	10	2	3
その他の進路	11	6	1
教習等	0	0	1
合計	94	23	19



「利用したい就職支援がなかった」が最多。教職志望者への支援や就職支援を利用していない就職が決まっていない現状、その他の理由も合わせ今後の支援内容、行事の広報、支援時期の検討が必要と思われる。

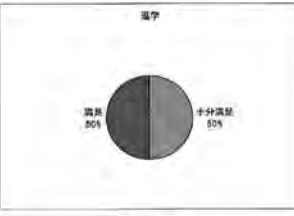
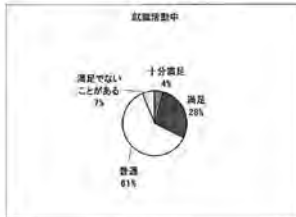
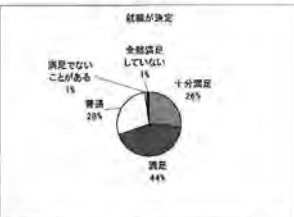
進路の満足度

進路	十分満足	満足	普通	満足でないことがある	全然満足していない
就職が決定	127	103	57	9	1
進学	4	0	1	0	1
就職活動中	1	3	31	10	10
教員志望(講師候補中)	1	4	10	4	11
その他の進路	7	1	12	4	4
合計	140	111	111	27	27



就職支援の満足度

進路	十分満足	満足	普通	満足でないことがある	全然満足していない
就職が決定	67	111	71	3	3
進学	1	1	0	0	0
就職活動中	2	13	28	3	0
教員志望(講師候補中)	2	8	8	4	1
その他の進路	3	5	6	1	0
合計	75	136	113	11	4



就職支援についての要望(抜粋)

学科	要望内容
総健	もっと就活支援したほうが良いと思います。
総健	もっと就職に対してしっかりサポートしてほしい。知らない支援もあったり、キャリア講座も大事なきに行ってほしいです。
食学	もっとまめにガイダンス等を行ってほしい。個別支援をどのように行っているか早い段階ではわからなかったのもっとアピールしてほしい。
食学	キャリア支援課の人数少ない
食学	個別の時間の確保が難しい
食学	もう少し積極的に就職支援してほしい。行きづらい雰囲気があった。
食学	土曜日も支援課をあげてほしい。
食学	就職活動への意識付けをもう少ししてほしいと思います。
食学	3年生の後期からでなく3年生になってから支援してほしいです。
健康	相談に行こうと思ったがなかなか相談できる雰囲気ではなかった。もっと相談しやすい雰囲気を作りたいと思った。相談できなく、悩みが解消できなく、なんとか自分で就職を決めるしかなかった。

評価結果

評定：S

評定理由（総論）

地域に密着した就職支援を行い、実践面と精神面の両者の講座の開設に取り組んでいる、優れた取り組みである。面接フィードバックシステムの導入によ

り、面接試験への対応もきめ細かく行い、教員には学生指導のためのゼミが設けられている。また就職相談員、企業訪問専任者、キャリア支援課職員の三者が連絡をとりあい、学生の就職指導にあたり、地元密着した就職先の開拓を行っている。これらの取組の結果、高い就職希望率、就職率を達成している。

実地視察報告

視察日：2012(平成24)年10月3日（火）



総評

本学の特徴は、地域社会に根ざした大学教育を確立するために、学生に地域との連携を深める「経験値養育」を促す為に、多種の(28の企画)に取り組み、生涯学習、地域文化、健康福祉の向上及び地域課題の解決支援に貢献できる学生の養成を目的としていることにある。学生は多くの企画の中から、個々の学生の特性に合致したものに参加できるようにし、さらに、地域社会と一体になって活動するために、学生の自発的な内容での奉仕活動に力を入れている。一方では、地域社会の力を積極的に活かして学生のキャリア支援のためにプログラムを構築し、学生の基礎的社会人を養うことを目的とした。

プログラムの実施には学長の指導の下、全学教員の協力を得て個々の学生に適切な指導を行なった。コミュニケーション能力の向上、地域の商工会議所、経営者協会、ハローワークに協力を依頼して、地域社会の要請に答えられる人材の育成に力を入れた。これらの企画により、学生の地域社会や地域の企業への理解が深められた。

これらの経験教育と社会人としての能力を備える

為の講義、講習会、講演会を通して、文章を書く力、自分の考えを他者に伝える力、自己の理解と同時に、他者を理解することができるように工夫されていた。システムの構築は、学生の個性に合わせたプログラムで作られ、その実施を教員が一丸となって支援していた。学生が「社会人としての基礎能力を備えるため」に、個々の教員の授業の仕方について、教員がいかなる努力を払ったかは自己点検報告書には記載が無いが、実際には大きな工夫が成されている。

知識は観察力と考える力によって、人間の知恵として働くようになるので、知識を教える授業では、教員が学生に観察力と考える力を育てる必要がある。それぞれの教員の工夫が学生の知恵を育て、物事に適切に対応する能力の向上に繋がると思う。これらの成果として、本プロジェクトの目的である「自分の人生を考えた職業が選択できる学生の育成」が徐々に達成できると思われる。

個別事項

1. 「地域力を生かしたキャリア支援プログラムの

構築」という目的の中で主に実施されたことは、学生が地域社会と適切に連携を図るために、学生の基礎的社会人力の向上を目指すプログラムを作成し、実施したことである。

2. その施策として

(1) 個々の学生に適した就職ができるような支援として、コミュニケーション能力の向上、模擬面接、自分を客観視できる方法として、面接フィードバックシステムを開発した。いずれも効率良く機能していた。

(2) 地域の商工会議所、経営者協会、ハローワークと連携し、就職相談員と協力して、学生個々に応じた就職支援を行なうため、学生個々の能力を見極めるためのキャリアプログラムを作成した。実施内容は、①指導者として教職員のキャリア講習会を開催し、教員の指導力を高めた。②企業説明会を開催し、地域にどのような企業があるかを紹介した。③学生の基礎能力を高め、企業が望む人材の育成基礎となる「学生の基礎的社会人力を高めるためのプログラムの構築」としては、講習会、講演会を通して、文章を書く力、自分の考えを文章に表し、他者に伝える能力を養い、自己の理解と他者の理解を深める努力をしていた。

就職相談員、企業訪問専任者、キャリア支援職員との連携が良く取れており、学生の就職支援が効率良く行なわれていた。学生と教職員の信頼関係が高く雰囲気も和やかで、大学内の調和が取れている所が目についた。当然のことながら、就職率も高くなって来ていた。教員、カウンセラーの努力には素晴らしいものがあつた。特に、地域社会との連携が良く取れており、学生のアイデアが企業に活かされている点などは、本学の目的である「経験値教育」の効果が現れた点である。